

事務事業名	80700 下水道建設事業	予算科目	会計 下水道	款 2	項 2	目 1	所管課 下水道課	担当班 工務班
基本施策	21 良好な生活環境の形成	根拠法令	下水道法・都市計画法					
施策の展開	39 住み良い住環境の確保	戦略事業	186 公共下水道の整備					
事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業							

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 4 年度～ 平成 30 年度まで	●道路側溝や水路等に流れていた生活排水(汚水)を一括処理するため下水道施設を建設し、生活環境を改善するとともに河川等の公共用水域の水質を改善する。 ●主に①家庭や事業所から出る汚水を集めるため下水道管を建設する。②集めた汚水をきれいにして川に流すための汚水処理施設を建設する。 【下水道区域】認可区域 旭処理分区のうち旭駅周辺202ha【認可期間】平成30年度まで ●平成27年度は面整備事業管渠建設工事、下水道業務継続計画策定、汚水適正処理構想の見直し等を行った。なお、認可区域内の面整備事業は平成27年度をもって終了した。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
市街地の拡大や生活様式の変化につれて、排出される汚水量が増加し河川等の水質汚濁が進行していた。快適な居住環境をつくとともに、水質保全を図ることを目的として公共下水道事業を開始した。	人口減少や財政事情の変化。水洗化率の伸び悩み。	住民、議会から下記意見が寄せられている。 ・負担金や排水設備工事の経済的負担が大きい。・既設の浄化槽利用で不便を感じていない。・下水道区域外との不公平感がある。・下水道整備に経費がかかりすぎている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算) 単位:千円								
1. 工事請負費	7,519	公共ます設置工事、管路維持管理工事	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
2. 委託費	0		千円	26,612	117,112	48,956	7,519	6,480
3. 事務費	398	旅費、需用費、役員費、使用料及び賃借料、公課費	千円	94,780	0	11,114	0	19,127
			千円	642	629	440	398	518
			千円					
② 特定財源の内訳(28年度の決算) 単位:千円		事業費計(A)						
1. 国庫支出金	0	千円	122,034	117,741	60,510	7,917	26,125	
2. 都道府県支出金	0	千円	40,260	38,540	15,500	0	9,563	
3. 地方債	0	千円	64,400	62,900	19,900		8,600	
4. その他	7,917	下水道事業負担金	千円	16,733	15,672	25,110	7,917	6,318
			千円	641	629	0	0	1,644

前年度増減理由 平成27年度までに現事業認可区域202haの整備が完了し、平成28年度は面整備工事等を行っていないため

従事職員数 常時 1人 最大 1人 × 225日 = 延べ 225人

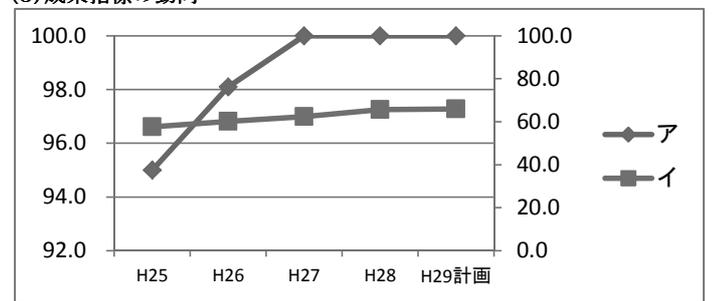
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 公共ます設置 N=12箇所 マンホール転落防止梯子設置 N=18箇所		ア 整備面積	ha	4.0	6.4	3.8	0.0	0.0
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象意図 下水道認可区域 下水道が整備される。 対象意図 下水道計画区域内住民 下水道に接続する。		ア 下水道整備率(下水道整備済面積/認可区域)	%	95.0	98.1	100.0	100.0	100.0
			イ 水洗化率(接続率)(下水道接続者数/下水道利用可能者数)	%	57.7	60.2	62.4	65.6	66.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果				
施策貢献度	大きい	成果向上余地	評価結果	コスト比率			
	普通	かなりある		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3	
	小さい	ある程度ある		①	②	③	
		ほとんどない	④⑤	(4)	⑥	⑦⑧	⑨

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難									
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	比較	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		のタイプ	数値増=成果向上	<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	ア	2.0	3.1	1.9	0.0	0.0
					イ	0.3	2.5	2.2	3.2	0.4
③ 今年度取組事項	時期	内容			今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()				
	H29.7～	予算が事業コード80700下水道建設事業より事業コード80750下水道改修事業に移行となった。今年度より施設の適正な維持管理を行うためストックマネジメント実施方針を策定する。			平成29年度以降 平成29年度は、旭市公共下水道ストックマネジメント実施方針を策定する。次年度以降はストックマネジメント実施計画を完成させ、適正な維持管理を行うと共に水洗化率を向上させる。					